

【解答例集】あなたの町の「困った」から、新しい仕事生まれる

CCN寺子屋 ワークシート解答例集 | local-problems

⚠ **保護者・先生向け：**このシートは参考例です。生徒自身が考えることが大切です。答えを見せるのではなく、まずお子さん・生徒さん自身に取り組ませてからご活用ください。

1 自分の地域の情報を書こう

モデル回答例

住んでいる町：東松山市

特徴：駅前が賑やか。少し歩くと住宅街。お年寄りが多く、子どもの遊び場は少ない

多い人：高齢者世帯が多い。子育て世代も増えている

よく行く場所：学校・スーパー・近所のおじいちゃんおばあちゃんの家

ここがポイント

自分が住む町の「リアルな観察」を書こう。観光スポットより「普段の生活」に目を向けると、本物の困りごとが見えやすい。

2 地域の「困りごと」を5つ書き出そう

モデル回答例

① おじいちゃんおばあちゃんが買い物に行きづらい

② 放課後、子どもの居場所が少ない

③ 商店街にお店が少なくなっている

④ お祭りに参加する人が減っている

⑤ 外国から来た人が話す場所がない

ここがポイント

「〇〇がない」「〇〇が大変そう」という観察から書き出そう。ニュースや地域の掲示板も参考になる。

3 1つを深掘りしよう

モデル回答例

選んだ困りごと：① おじいちゃんおばあちゃんが買い物に行きづらい

具体的な場面：80歳近いおばあちゃんが足が悪くて、重い買い物袋を持って15分歩くのがつらそう

今どうしているか：少しずつ買って何往復もしている

ここがポイント

「誰が」「どんな時に」「どれくらい困っているか」を具体的に書けると、解決策のアイデアが出やすくなる。

4 それを解決する「新しい仕事」を考えよう

モデル回答例

仕事の名前：近所のおつかい便

何をする：週2回、高齢者の家を訪問して買い物リストを受け取り、地元スーパーで代わりに買い物して届ける

誰のため：足が悪くてスーパーに行けないお年寄り

ここがポイント

仕事の名前は「何をする人か」が1秒でわかるものが良い。「誰のため」を明確にすると、仕事の価値が伝わりやすくなる。

5 まとめ・発表

モデル回答例

「私の町には〇〇という問題があります。特に〇〇さんのような方が困っていると気づきました。そこで、〇〇という仕事を考えました。」

ここがポイント

発表の最初に「自分の観察から気づいた」ことを伝えと、説得力が増す。データ（人数・距離など）があれば入れよう。